



校長講話より（6月20日）

六月二十日（金）に、教育週間に先駆けて、校長講話を行いました。いのちにかかわる話を二つ行いました。

一つ目は、「いのち」を守ることです。ある日、地域の方々が川に流れて乗ると危険な流木を動かしてくれました。

いのちの学習

～教育週間校長講話より～

木は、ロープでも少ししか動かすことができず、長い時間を使って電動のこぎりで切断するなどして、安全な場所に動かすことができました。私が見た時間だけでも三十分以上、一時間ほどの作業をしてくれました。私は、このよう

な人々の思いやり、愛情の積み重ねでいのちは守られているのだと思いました。

もう一つは、私たちは何のために生きているかを考えたとき、私はある一冊の絵本を思い浮かべました。「百万回生きたねこ」です。あるとらねこが百万回死んだ後、ある出会いをしたおかげで、安らかに息を引き取ることができました。ある出会いとは、

自分が誰より好きだったとらねこが初めて自分より好きな、大事にしたいものに巡り合ったのです。私たちは、この本のように大切なものに出会うために、生きているのではないのでしょうか。

この話をすっかり聞いてくれた子どもたちが、さらにいのちを輝かせてくれることを願っています。

裏面あり

成長しています

～宿泊や教育週間から～



ネットワークパトロールの集合写真（6月29日）

六月二十三日（月）から二十九日（日）まで教育週間として、学校を公開しました。

今年は何といっても、最初の三日間は五・六年が日吉自然の家で宿泊学習に参加しました。外海黒崎小・池島小の児童と協力し、あいさつや係でも率先して頑張ったと聞いています。普段からの生活の賜物だと思えます。子供たちは大いに自信をつけました。

留守を務めた三・四年生の奮闘も見事でした。普段高学年がしている朝掃除や給食の仕事を務めることができました。先輩からのバトンがしっかりと受け継がれているのですね。

学校公開の最終日、二十九日（日）は、日曜参観。一時間目は、道徳です。中学年は、命の大切さから自分のよ

力を付けます

高学年は、校長講話の後、話を要約する取組をしています。五分以上の話の大切なことを百字にまとめるという決して簡単でない取組をしつかりできるようになっています。

しかも、最近是要約に加えて、感想や決意を述べてくれる、うれしく感じます。子供たちと「つながる」大切なひとときです。



宿泊学習（6月25日）

さを見つめ、高学年は潜んでいるいじめを見逃さないように考えることができました。

二時間目は、ボッチャを四グループに分かれて行い、楽しいひと時を過ごしました。懇談会は貴重な意見を交流させる機会になりました。

そして、最後は暑い中、ネットワークパトロールを行いました。ストップマークを貼りながら、通学路をチェックすることができました。

保護者、地域とつながるよい一日でした。

神浦の風



長崎市立
神浦小学校
文責
校長 津田康史

【8月の行事予定】

8月 9日(土) **平和集会** (10:30～11:10)

※10:20までに登校させてください。

※場所はランチルームで行います。1階の奥の教室です。

【9月の行事予定】

9月 1日(月) 2学期始業式

4日(木) フッ化物洗口

5日(金) 夏休み作品展示、委員会活動、池島小交流

9日(火) 授業参観・懇談会

神浦小運動場除草作業 (時刻は、後日連絡します)

11日(木) フッ化物洗口

12日(金) 池島小交流、クラブ活動

15日(月) 敬老の日

18日(木) フッ化物洗口

23日(火) 秋分の日

24日(水) 観光学習(5・6校時) ※放課後 15:30～意見交換会(詳細は、後日連絡します)

25日(木) フッ化物洗口

26日(金) 池島小交流、代表委員会

【夢は、生きるエネルギー】～7月校長講話より～

7月7日(月)、七夕の日。校長講話で次のような話をしました。

皆さん、願い事がありますか。私の願いは、みんなの願いが叶うこと。または、みんなが願い事に向かって、努力していること。私はそのような夢を叶える手伝いをする人を「夢先案内人」と呼んで、そうなりたいと思っています。

実は私は、小さいころの夢は今と違って、「マジンガーZ」になりたいと言ったそうです。小学校の卒業アルバムには「なんでもいいからとにかく世界記録を作りたい」と記していたそうです。

高校になってあこがれていたのが「高杉晋作」。簡単に言うと明治維新にかかわった長州藩(山口県)の人。「電光石火」が似合う、生き様がカッコいい人です。ただ、当時の私は、「無理のような気がする」という結論から、「高杉になれないなら、高杉を育てた人になればよい」とひらめいたのです。今思えば、育てた人—吉田松陰もとんでもない大物だったのですが…。でも、それをきっかけに、私は教職の道に進んだのですから…。

ここで注目してほしいのは、夢は変わってもよい。むしろ方向を変えることで、自分の可能性が開けることがある、ということです。わたしがかわった子供たちが有名になると、私は吉田松陰に近づけるかもしれません。

夢をもつことは生きること、そして生きる活力になることだと私は考えます。

